



豊島区民協キャラクター  
ふくじい

コミュニティソーシャルワーカー

# CSW 通信 4

2025年  
4月号

CSW (コミュニティソーシャルワーカー) とは・・・

福祉に限らず暮らしのこと全てのご相談に対して、一人ひとりの生活や思いに寄り添いながら、地域のみなさんや関係機関・団体等と協力して、解決に向けたお手伝いをしています。

※豊島区より受託

CSWは、8か所の区民ひろばに常駐しています

## 被災地に思いをはせ・・・みんなの命がつながる社会にするために ～「能登半島地震」後に災害関連死の課題を考える～

令和5年1月1日に発生した能登半島地震、その後9月の能登豪雨災害では、避けられない自然の猛威を改めて実感するとともに、被災により多くの命が奪われ、今なお様々な社会生活課題に直面し疲弊している現地の人々の思いは計り知れません。

多様な社会生活課題の中で大きな課題の一つは「災害関連死」があります。一度は助かった命ですが、家屋の倒壊やライフラインがストップ、避難所への避難や在宅に留まった住民でも生活環境の変化に対応できず亡くなる人たちが多数に上っています。

「能登半島地震」災害関連死者 令和7年3月25日時点  
北國新聞記事より

県別	直接死者	災害関連死
石川県	228人	328人
新潟県	—	5人
富山県	—	3人
計	228人	329人
合計	557人	

また福祉避難所になる福祉施設も震災直後の1月19日時点で、87施設のうち19施設の開設に留まっていた。断水、施設損傷、職員が被災し施設に駆けつけられないなどの要因が重なり、要援護者は、他の福祉施設や避難所、病院等に転々と避難し、環境という変化に対応できず多数の人々が亡くなっている事実を改めて認識する必要があります。



2011年3月の東日本大震災でも、死者1万9,702人のうち災害関連死は、3,802人で避難先を転々としたことも大きい要因の一つとされています。また2016年の熊本地震の際には死者277人のうち災害関連死が224人(約80%)となっています。この熊本地震の災害関連死の約4割が在宅避難者と言われています。

### ◇災害関連死を防ぐには・・・

この都会が大地震等に遭遇した際、被害状況によりますが、生活者の不安や悩み、そして命を守る行動は、行政や関係機関のみならず、身近な地域住民の気づきや声かけが大事になってきます。そして医療・福祉専門職等のチーム、災害NPO、NGO、社協等との連携も視野に災害関連死を防ぐ仕組みを考えていく必要もあります。ぜひみなさんと考えていきたい・・・と思いますのでCSWにお声がけいただければ幸いです。

予約不要

# 暮らしの何でも相談会

無料

4/24(木)

13:30~14:30

@区民ひろば上池袋  
(上池袋3-13-5)

4/24(木)

10:30~11:30

@区民ひろば朋有  
(東池袋2-38-10)

4/21(月)

13:30~14:30

@区民ひろば豊成  
(上池袋1-28-7)

CSWがお話を伺い、関係機関や地域情報などをご紹介します。お気軽にお越しください。



上記日程でご都合がつかない場合でも、相談は受け付けております。

電話相談(03-6844-3643)や訪問も行っておりますので、ご連絡ください。



## きんぎょサロン ~居場所・社会貢献・多世代交流・社会体験~

大人と子どもで遊べるゲーム

きんぎょサロン春まつり "2025" おみやげもあるよ!

日時 3月19日(水)  
14:00~16:00 (※15:30まで入場)

場所 区民ひろば上池袋(上池袋3-13-5)

対象 小学生(幼児は応相談)

人数 10人程度(予約優先・当日OK)



■ おもしろさ・おといあわせ きんぎょサロン活動 YouTube  
豊島区民社会福祉協議会

コロナ対策ソーシャルワーカー CSW 担当: 大竹・山本

TEL/FAX 03-6844-3643

受付時間 月曜~金曜 8:30~17:15

※本会より予約・お申し込みの際は必ずお名前・お電話番号・住所・性別・年齢・性別を明記し、お申し込みください。



きんぎょサロンは、年齢や性別も関係なく集まれる地域の居場所です。

きんぎょサロンの始まりは10数年前、区民ひろば上池袋がリニューアルの間一か月の閉鎖する事になった事をキッカケに居場所の一つとして、「かみいけ手仕事の会」が生まれました。活動は当時の参加者が得意としていた針仕事で、作品は区民ひろば上池袋オープンセレモニーで配布しました。区民ひろば上池袋がオープンしてからも参加者の「続けたい」の声が、今のきんぎょサロンにつながっています。針仕事を活かした作品をバザーで販売や寄付、世代間交流のイベントを行ってきました。現在は高齢化もあり針仕事が難しくなりました。ひろばまつりの子ども中心へのプレゼント作成も、仕事のように根詰めて自宅でも行うように見受けられた為、今のメンバーとひろば担当職員、CSWで話し合いを持ち、自分たちの出来る範囲で行う事と、自分たちの大事にしたい事を確認し活動を続けています。区民ひろば上池袋とCSWが応援し、一緒に参加させて頂いています。

みんなが参加者



社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会  
CSW 中央圏域担当 山本・小林  
(区民ひろば朋有内)

TEL: 03-6844-3643

メールアドレス: csw\_houyu@a.toshima.ne.jp

開所時間 月~金 9:00~17:00 (祝日・年末年始除く)

メールアドレス  
読み取りコード



豊島区民社協 SNSやっています

豊島区民社協ではX、Instagram、LINEでも情報発信を行っています。ぜひ覗いてみてください

社協公式SNSはこちら!

